

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月15日

事業所名 多機能型事業所 きらめき読谷

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	4	4	バギーを外に出したり医療機器の配置場所等事故にならないよう配慮している。	室外に大きな物置を設置してもらい、出来るだけ室内を広く使用できるように工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切である	1	3	5	見守りが手薄になるときは、活動内容など変更している。	医療スタッフの増員を行ったが、学校送迎にスタッフが出ている時と放デイの児童が帰って来てからの時間帯によって人手が足りない事があるので、今後シフト等を再検討していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			ホールには、出来るだけ物を置かないようにしこまめに環境整備を行っている。	収納場所が狭く、寝具を敷いたりすると雑然とした状況になっている。児童の活動に合わせた空間は不十分なので、収納スペースの工夫活動後の整理整頓を徹底します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			職員が多く参加できるように曜日や時間を設定している。	申し送り帳確認、口頭での周知。事業所会議での周知を図っていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9				意見箱を設置し、保護者からの意見を伺い、迅速に対応を心掛けていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2			今後、改善を行い4月10日前後に公開予定
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			9		第三者は設置していない。まずは、保護者からのご意見を参考に改善を図っていきます。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2		DVD研修を曜日を決めてスタッフが研修できるようにしている。	コロナ禍で外部講師を招くことができなかったため今後計画していきます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			普段から保護者との情報交換を心がけて必要な支援が行えるようにしている。	モニタリング内容をまとめ職員で共有しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	5			標準化されたツールがあるか不明との声があるので、職員間での情報共有に不足があるため、支援会議を通して活用を図ります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9			保育士を中心に計画を皆で立てている。	支援会議時にさらに多くの職員の声を参考に作成していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	3			平日は滞在時間が短いので殆ど活動参加出来ない事が多い。休日や長期休みに活動内容を工夫しているような体験ができるようにします。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	3		祭日、土曜日などは、ゆっくり過ごせるので活動を工夫している。	コロナ後は、地域イベント等確認話し合って決めています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9				個別活動(知的・身体)で対応できない場合はグループで活動を工夫します。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1		朝の朝礼時に一日の活動内容や情報共有を行っている。	予定の変更が多いので報告漏れや確認不足にならないようきめ細やかに配慮していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	1	緊急の申し送りは、送迎先から現場に連絡を入れている。	スタッフミーティングにて絶えず情報を共有しているが、送迎時間がバラバラなので終礼はできないが必要な時、その場で話し合うようにし、情報に漏れがないように心がけています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1		日報、看護師記録リハ記録を毎日残している。	日報に個別の支援記録を記載。その際、できたこと、できなかったことを記載することで、振り返りが可能な状態にてあります。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1			上記の日報を基に、達成状況を確認しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	2			ニーズに応じた活動を組み合わせ、PDCAサイクルを実践しています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9				相談員や専門性の高いスタッフが参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			学校行事の変更がある時は、保護者にも確認している	連絡帳を用いて、学校の行事等を保護者から聞き取り、職員に周知するようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	1			現在、医療的ケアが必要な児童が多いため、月に一度ドクター回診を行っていますが、主治医との連絡体制は不十分なので、会議等を設け今後の検討材料にします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3			他事業所との連携はあまり出来ていないので、保育所訪問以外に、相談員や保護者からも就学前の様子を聞き取っています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9				必要に応じて、相談員等に支援記録やアセスメント等の情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	2		今後関係機関との連携を強化できるように連絡体制を整えていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	6		コロナ禍で外出プログラムが殆ど出来ていないため、感染対策をとりながら出来る範囲で機会をつくっていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	5		現時点では、職員の勤務時間の都合上参加できないので、これから連携の形づくりを行っていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			連絡帳や毎日の送迎時にデイでの様子や情報交換を行っている。	連絡帳を用いて、学校の行事等を保護者から聞き取り、職員で共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3	1	困っている事、支援についての意見をいつでも聞けるように声かけを心がけている。	現時点では、ペアレントトレーニングという形ではありませんが、必要に応じて、個人的に行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			契約時に一緒に読み合わせし疑問があればその場で答えられるようにしている。	研修などを通してスタッフ全員が周知できるように体勢作りを行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			専門的なことは、調べるなどして応えている	適切な支援の方向性を知るため、家庭では見せない児童の様子を随時報告し、定期的な父母会を計画していきたいと考えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	6		保護者のみなさんの仕事の都合上、開催時間が制限されるので、困難な面が多いのですが、オンラインでの集会等で工夫し、早急な改善策を考えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			管理者にすぐ報告して対応するようにしている。	連絡帳や、送迎時での保護者との会話の中でこまめに報告しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1			連絡帳を用いて、学校の行事等を保護者から聞き取り、職員に周知し、保護者に対しても連絡帳やホームページにて発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	9			個人情報、鍵付きキャビネットで保管している	個人ファイルに関する書類は、鍵付きキャビネットに保管されています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9				絵、カード等、様々な工夫して児童、保護者とのコミュニケーションを取っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	6		コロナ禍で出来ていないが、将来的に計画していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2			マニュアルはすべて完成済みだが、保護者への周知も出来るように取り組んでいきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		避難訓練の計画を立てて実行できるようにしている	年2回避難訓練を行っていますが、他にもいろんなシチュエーションを取り入れた訓練の回数を増やしていきたいと考えています。

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1			年間計画に取り入れており、全職員の受講義務があります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1			現在該当する事例はありませんが、必要時には保護者への丁寧な説明を行って了承を得ていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		1		保護者からの情報収集はしているが、医師の指示書も無いことが多い。今後は保護者確認を徹底し職員間での報連相を強化していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			ヒヤリハット、事故があった時は、早い時期にスタッフで振り返りを行っている。	事業所会議でも振り返りを行い、事故を未然に防ぐ努力を意識していきます。